



市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



参議院議員  
たけだ良介



市議予定候補  
上田由美子

# 国保税 子どもの均等割の免除をー 予算特別委員会の質疑(2)ー

【砂田委員】 社会保険で、子どもが生まれるたびに保険料を増やしているのは国民健康保険だけである。今度から国保の未就学児にかかる均等割(小矢部市では一人約3万円)を半額免除することにした。国保税が子育てに逆行すると、国もようやく認識するようになってきた。全国の自治体からの声が国を動かした。

## 18歳まで免除に約4百万円あればできる

未就学児の残り半額と、18歳までの均等割も市が負担してもらいたい。未就学児の残り半額を負担するには113万円、18歳までは約4百万円あればできる。

わずかこれだけの予算で可能だから、市が率先、実行することで、さらに国に改善を迫ろう。



「子どもに均等割は国保だけ不公平感がある」  
市民課長

【市民課長】 子どもの均等割は他の社会保険にはない、国保だけの制度で、不公平感がある。高校生以下の均等割について、本市でも重点要望などで国、県に働きかけていく。国の責任で解消されるべきものである。

## 赤ちゃんにも75歳以上高齢者医療費分を負担

【砂田委員】 赤ちゃんにも、後期高齢者(75歳以上)の医療費分として6千円の均等割を負担させている。こんなひどい矛盾を解決するために、市が決断して実行し、国をも動かすことにできないか。

【民生部長】 市長の考え方では他市町村と足並みを揃えてやっていくということになる。市の負担としては、制度改修にもかなりの費用がかかる。国の責任において財源措置を伴った形で対応してもらいたいと、引き続き要望していきたい。

### 子ども医療費

## 県下全域で18歳まで窓口無料化 市は通院も無料化を

【砂田委員】 このたび全県すべての医療機関で窓口無料になった。その対象者は18歳までである。小矢部市は入院のみを18歳まで無料としているが、通院も加えてもらいたい。

## 「今後の検討課題にしたい」民生部長

【子ども課長】 通院を18歳まで拡充した場合には、市の負担が9百万円ほど増える。本市の財政状況など様々な観点から検討していきたい。

## 戦争は悲惨



## 富山大空襲に遭った祖母の話

「ウクライナのニュースを見ると、祖母が富山大空襲について語ったことを思い出す」。ある家庭を訪問したときの話です。

「祖母は富山大空襲に遭った。『首がどこかへ飛ばされて亡くなったお母さんに、赤ちゃんが胸にしがみついているのを目にした』と語ってくれた。避難所で白いどんぶりに食べものを分けてもらったのでしよう、祖母はここへ嫁に来たときにそれを大事に持ってきていた。戦争の話は余りしやべらなかつたが、このことだけは小さかつた私に語ってくれた。」

担が9百万円ほど増える。本市の財政状況など様々な観点から検討していきたい。

【砂田委員】 小矢部市は窓口無料化の対象市町村の範囲を広げたり、対象年齢を拡充したりする上で、全県の先進を走っていた。窓口無料対象医療機関が全県に広がった機会に、小矢部市も18歳まで入院、通院とも窓口無料にして、子育てをしつかり支えるよう、決断してもらいたい。



ミズバショウの花

【民生部長】 市が頑張ってきたことはよくわかっている。たまたま石川県を調べてみたら、金沢市(15歳まで)以外は今部18歳まで入院・通院も無料(窓口で一時立て替え、後で市が払い戻す償還払いも含む)になっている。そこで通院を18歳までにするということについては今後の検討課題にしたい。

## 石川県でも窓口無料へ働きかけを

【砂田委員】 ところで小矢部市の石川県での子ども医療費償還払い件数は2020年度596件(領収書の枚数)である。子ども医療費の償還払いが一番多いのは金沢市で、富山市よりも多い。石川県でも窓口無料化になれば市民の皆さんは喜ぶ。馳さんが石川県知事になったチャンスを活かしたらどうか。

【民生部長】 実際にやるとなると、石川県での医療機関の窓口負担がかかっていくのでないか。医師会との調整も必要であり、まずは富山県へ要望して、それからだと思っている。